

学習内容報告書

学校名	階上町立大蛇小学校
授業者	前川原教頭 桑田教諭 谷川教諭 高橋教諭 河原木養護助教諭

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海とかかわる大蛇のよさを発見しよう ～全校遠足（種差トレイルジオパーク）～

1-2. 学年

全校児童

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習・生活科・学校行事

1-4. 単元の概要

「海」または、地域の特色に関連した地域の自然や文化などの特徴を生かした学習活動を工夫する。

体験活動を中心に海とかかわりの多い大蛇の地域のことを知り、海の産業・環境・大蛇の海の未来のことを考えることができるようにする。また、大蛇海岸はみちのく潮風トレイルにも含まれているので、隣の種差海岸（種差トレイル）を歩くことで、三陸復興国立公園の自然の様子を学ぶことができる。これらのことが、海洋教育の4つのキーワード「海に親しむ」「海を知る」「海を利用する」「海を守る」につながり、大蛇の誇りをもった子供が育つ。

1・2年は、大蛇の地域のことを知る

3・4年は、地域の自然とそれを守る人々を探る

5・6年は、地域の産業とそれに携わる人々の思いや願いと地域の未来について考える。

学年ごとに以上のような探究課題をもって学習を進める。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- 海にかかわる大蛇の地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴や良さに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- 海にかかわる大蛇の地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを根拠を明らかにして、まとめ・表現する力を身に付ける。
- 海にかかわる大蛇の地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

○知識及び技能 地域の産業のよさと課題及びそれに携わる人々の願いがわかる。
○思考力・判断力・表現力 自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追及している。 相手や目的、意図に応じて工夫してまとめ、表現している。 学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かそうとしている。
○学びに向かう力、人間性等 課題の解決に向けて目的意識をもって、意欲的に取り組んでいる。 自分のよさや自分にできることに気付いている。 自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとしている。

1-7. 単元の展開（全34時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	◎全校遠足（全校） 【事前活動】 1 ・ふれあい班ごとに活動することを決める ・目当てを決めてワークシートを作成 【全校遠足（種差トレイル）】 6 ・葦毛崎展望台から種差海岸までをふれあい班ごとに歩く ・種差海岸で昼食 交流活動 散策 ゴミ拾い 【事後活動】 1 ・振り返り、新聞・作文等にまとめる	
2	◎海岸清掃（全校） ・学校前の大蛇海岸を4つの班に分かれて清掃活動にあたる	○八戸警察署生活安全課 ・リトルジャンプの活動と連携
15	◎種差宿泊学習（4年・5年） 1泊2日 ・タイヤチューブのいかだづくりといかだ遊び ・ナイトハイク（種差少年自然の家周辺） ・磯遊び（カニ釣り）	○種差少年自然の家の職員のお手伝い ・小舟渡小、道仏小の児童と合同で行う ○道仏小学校・小舟渡小学校教員と一緒に指導

4	<p>◎船釣り体験（4年・5年・6年）</p> <p>【事前指導】 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り竿の準備・仕掛けづくり・安全指導 <p>【船釣り体験】 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蛇漁港の沖合でかれい釣りを体験 ・戻ってからワークシート等を活用して振り返りを行う 	<p>○坂下釣具店の協力を仰ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り船3艘 釣りの指導はそれぞれの船長さん ・釣り竿、カレイを釣るための仕掛け、エサ <p>○安全に気を付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフジャケットの着用
4	<p>◎ウニの殻むき体験（全校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蛇でとれるウニのお話 ・ウニの殻むきの仕方の説明 ・殻むき体験 	<p>○階上漁協荒谷部会と婦人部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蛇でとれるウニ
1	<p>◎南極の氷体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南極の氷に実際に触れる ・氷が解けるときの音を聞く ・南極のお話（昭和基地に滞在した時のお話） <p>講師 鮎川先生</p>	<p>○講師 八戸工業大学 准教授 鮎川恵理</p> <p>○八戸海上自衛隊から贈られた南極の氷</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- 種差トレイルジオパークを歩いて体験することで、三陸復興国立公園および三陸潮風トレイルの海の様子などを学び、豊かな海や自然を大切にすることを育てる。
- 縦割り班での活動を通して児童相互のふれあいを深め、お互いを思いやり協力し合う心情と態度を育てる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none"> ○大蛇小学校出発（バス移動） ○葦毛崎展望台着 <ul style="list-style-type: none"> ・展望台から景観 ・展望台付近の散策 ○葦毛崎展望台出発 <ul style="list-style-type: none"> ・トレイルの遊歩道に沿って歩く <ul style="list-style-type: none"> 中須賀海岸 大須賀海岸 白浜海岸 深久保漁港 淀の松原遊歩道 種差海岸 ○昼食 ○ふれあい班活動 <ul style="list-style-type: none"> ・交流活動・散策活動・ゴミ拾い ○種差海岸出発（バス移動） ○大蛇小学校着 	<ul style="list-style-type: none"> ○展望台から見える景色についての説明 <ul style="list-style-type: none"> ・八戸漁港・下北半島・太平洋等 ○安全に注意しながら歩かせる ○自然に触れ合えるように意識して指導する <ul style="list-style-type: none"> ・動植物・海の様子・海岸や漁港の様子 評価：自然に関心をもって歩くことができたか ○他のお客さんに迷惑にならないように注意して活動させる

3. 今回の活動の自己評価

- コロナ禍で2か月間休校措置があり、休校が明けてから初めての全校の行事となった。子供たちが生き生きと活動できたので良かった。
- 初めて全校で種差トライアル（長い距離）を歩いたが、最後まで全員歩きとおすことができた。
- 種差の海岸線や動植物などをゆっくりと見ることができた。
- 種差海岸では、自主的にゴミを拾うことができた。（海をきれいにしようとする心が育ってきている）

4. 今後の課題

- ▲今回は、コロナ禍で事前活動等にあまり時間がとれなかったもので、事前指導で三陸海岸についての学習が不十分だったので、社会や総合的な学習、生活科などで学ぶ時間を設定する必要がある。
- ▲種差海岸での散策の時間をもう少し増やしたり、説明のボランティアを活用したりすればもっと体験活動が深まった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。



葦毛崎展望台とその近辺





大須賀海岸の砂浜

大須賀海岸の砂浜



三陸潮風トレイル



種差海岸での
ごみ拾い活動



種差海岸の芝生にて全校児童

